

# 自然と親しむ 廃材アート

村上市の瀬波温泉で廃材を利用した生き物を造形した作品展「加治聖哉世界展」が、21日まで開催されている。つまようじや割り箸、木材の削りくずを駆使し、小さな蚊から巨大なキリンまで奇想天外な「動物王国」が展開されている。

村上市出身の「廃材再生師」加治聖哉さん(24)の個展。加治さんは長岡造形大で美術工芸を学び、彫金コースを卒業した。アート作品の制作・販売会社勤務を経て、2019年7月からは長岡市栃尾地域の地域おこし協力隊員も務めている。作品は廃材を主な材料として、モチーフとなる生き物を原寸大で制作することこだわっている。展示会場の市老人福祉

加治さん(村上市出身)個展 瀬波温泉で21日まで

## 木くず再生「動物王国」



センターあかまつ荘では、ひよの脚などがこんな廃材でできる。同センターの八藤後忠館長は「感染症の影響で開催が大幅に遅れたが、ぜひ作品を見て来て癒やされてほしい」と話している。

30点が並び、今にも動き出しそう。新型コロナウイルス感染拡大で開催時期が約3カ月遅れた。

訪れた人からは「生き物で開催時期が約3カ月遅れた。」と驚き、「センス、クジヤクなどの作品約く声も上がる。」と驚き、「感染症の影響で開催が大幅に遅れたが、ぜひ作品を見て来て癒やされてほしい」と話している。

廃材を使った生き物の造形美が光る「加治聖哉世界展」＝村上市